

日本版NSC法、特定秘密保護法、国家安全保障基本法—がある。憲法9条は平和を守る人類の挑戦。行使容認阻止には市民運動の力こそ必要。」との言葉に意を強くした。

九条の会「学習会」に参加して

今回の学習会は参加が50名でしたが、半数の25名の方からアンケートによる感想と意見をいただきました。その主な内容を紹介します。

多くの方が集団的自衛権の発動につながることに強い懸念を持ち、反対運動の必要性を訴えていると思いました。

●大変参考になりました。すごく良かったです。

●よく理解できました。本当に危機感を持っています。出来るだけ多くの方に話したいと思います。

●大変くわしくご説明くださりましてありがとうございました。私が思うのは、世の無関心な人が大問題だと思います。戦争をやりやすい国になったらどうなるかを子供たちに具体的にすべての大人が話すべきだと思います。

●他国と戦争できるような状況に変えて、メリットって皆無だと思います。安倍さんのあの手、この手で頑張るモチベーションはどこから来るのでしょうか。不思議です。

●大変参考になりました。質問したかったのですが、時間がなく出来ませんでした。質問

したかったのは、安倍首相が何故集団的自衛権を急いでいるのかということです。アメリカの要請なのか。

●たいへん解りやすい、貴重な講演でした。市民の一人として政治に関心を持ち、参加し続けることを自らに課したいと思いました。人間は必ず間違いを犯します。反省し、正し、過ちを繰り返さないことが最も大事。

●大変興味深いお話をありがとうございました。解釈改憲は、まさに徳俵であること。もしそれをやれば世界から見放されること、徳俵から土俵の外へほおりだすのは市民運動であることをキモに銘じたいと思います。

●現政権の不穏な動きを何とか制止できないかと思いつながら、3ヶ月ほど前に九条の会のネット登録をしましたが、本や新聞を読んでいるだけではイライラしておりましたところ、この講演会に参加させて頂きました。子や孫の世代が困るようなことは絶対に避けなければならないと思っております。私らの世代の責任だと思っております。声を大にして、この危機を一人でも多くの人に理解してもらうことが重大と、改めて今日の講演から感じました。ありがとうございました。また参加させて頂きます。



「あしや市民活動フェスタ」でドキュメント映画上映

芦屋「九条の会」は、市の登録団体のひとつとして上記フェスタに毎年参加していますが、今年はドキュメント映画「レーン・宮沢事件—もうひとつの12月8日」を上映します。

1945年12月8日太平洋戦争開始の日に、北海道大学の学生であった宮沢さんと恩師のレーンさん、その妻が逮捕され、獄中生活を送った経緯と関係者を追跡した記録です。

日時：5月31日（土）

場所：リードあしや（あしや市民活動センター）

*上映時間は未定ですが、広報その他でお知らせいたします。ご期待ください。

